

# 日本臨床検査専門医会 2022年度 第1回理事会

開催日時：2022年4月23日（土曜日）15時10分～16時05分

場 所：日本臨床検査専門医会事務所・ZOOMによるWeb会議

出席者：ㄨ谷直人理事長，山田俊幸副理事長，東田修二（庶務担当），増田亜希子（会計担当），  
菊池春人，横崎典哉，福地邦彦，松下一之，五十嵐岳，田部陽子 各常任理事  
藤井聡，植木重治，浅井さとみ，山田鉄也，尾崎敬，北中明 橋口照人各理事  
古川泰司，東條尚子 各監事（いずれもWebによる出席）

事務局：市川綾子，大和田有美子

Web会議システムにより，出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，的確な意見表明ができることが確認されたため，定刻，東田理事が開会を告げ，ㄨ谷理事長は議長となり，開会を宣し，議事に入った。

## <報告事項>

### 1. 各種委員会報告（2022年1-3月の活動報告，2022年度の事業計画）

#### 1) 情報・出版委員会

福地委員長により，添付資料1に基づき報告があった。また，ホームページに掲載予定の「臨床検査医学への提言」執筆者4名への依頼を済ませたことが追加で報告された。Lab CP39巻がまもなく発刊されること，日本衛生検査所協会 協会誌「ラボ」専門医ページへの掲載および検索ヒット数の増加が順調に進んでいることにも言及された。要覧発行については今年度の事業計画として推進していく。

#### 2) 教育研修委員会

田部委員長により，添付資料2に基づき報告があった。生涯教育講演会，教育セミナーの準備状況や，ハンズオンセミナー共催のWEB開催（ON TIME）について説明があった。

#### 3) 資格審査・規定改定委員会

菊池委員長より，添付資料3に基づき有功会員1名の推薦があった。2022年有功会員はすでに，2021年11月の総会で承認を受けていたが，当該1名は2022年3月の誕生日をもって資格を得たため，次回の総会で承認を受けるべく推薦となった旨説明があった。名誉会員，有功会員の資格については一般社団法人としての委員会規定に詳細がないため，任意団体時代に倣って候補者を選定したが，今後推薦条件や時期などについて委員会で検討するとの話があった。また，前回以降4名の新入会審査をし，ㄨ谷会長の承認を得た旨も報告された。

#### 4) 広報・ネットワーク委員会

五十嵐委員長より，添付資料4に基づき報告があった。後藤和人先生田担当している，レジデントノート「検査のTips」連載は5月号で連載62回に到達。執筆者を募集されているとの報告があった。また，3月に発覚した専門医会HPからの個人情報漏洩について，経緯の報告と，今後の対応について説明があった。その他，JaCLAS EXP02022が

神戸で開催されることをうけ、ブース出展について、再度委員会で協議をする予定であるとの報告があった。メ谷理事長よりぜひ出展の方向で検討して欲しいとの意見がでた。

#### 5) 渉外委員会

横崎委員長より、資料5に沿って、7月22日に開催される振興セミナーの座長・演者について相談があった。第1部の座長は山田俊幸副理事長、講演2の講師は松下一之常任理事、第2部の座長は横崎委員長が務めることで合意を得た。

#### 6) 保険点数委員会

松下委員長より添付資料6に基づき、まず、医療技術評価分科会における医療技術評価案の概要が示され、細かく評価されている旨の説明があった。また、令和4年度診療報酬改定に向けた本会からの提案として「鼻腔・咽頭拭い液採取」は現行5点から35点への増点へ強く要望したいとの話があった。

## 2. その他

### 第1回一般社団法人日本臨床検査専門医会年次大会について

橋口大会長より、進捗状況についての報告があった。プログラムは添付資料12の通りである。3日前の集計で100名ほどの参加申し込みを確認している。理事の先生方の協力に対して感謝の辞が述べられた。現在の状況下では、懇親会の開催は厳しいが、来鹿して下さる方々に何か楽しんでいただけるような企画ができないか検討中であるとの報告があった。

## <審議事項>

### 第一号議案 2021年度事業報告について

議長は2021年度事業報告について、庶務担当の東田常任理事に説明を求めた。東田常任理事より添付資料7に基づき、2021年3月末時点の会員数、本会の事業目的、2021年1-3月の事業内容について報告され、その後これを議場に諮ったところ満場異議なく承認された。

### 第二号議案 2021年度決算報告について

議長は2021年度事業報告について、会計担当の増田常任理事に説明を求めた。増田理事常任理事より提出資料の説明があった。賞味増減計算書(資料8)においては、今年度は一般社団法人として活動を始め、会期を変更して初めての決算であるため、比較予算が無いが、来年度からは予算との比較も明示できること、年会費請求をしていないので収入は無いが、事務所維持費が3か月分計上、人件費は4か月分計上など固定費の支出があったため、結果的に赤字決算になった旨の説明があった。また、貸借対照表(資料9)においては、2022年度分年会費の請求書を3月に会員に送付しているため、前受会費が発生していること、法人化後、大会会計も学会会計に組み入れることになったことから年次大会の広告費などが前受金して計上されていることなどが説明された。その後、古川監事・東條監事より監事監査を行い特にも問題なく適正に会計処理および事業がなされていることを確認した旨報告があった(資料10)。これを受け議長が決算報告について議場に諮ったところ満場異議なく承認された。

### 第三号議案 2022 年度事業計画について

議長は 2021 年度事業報告について、庶務担当の東田常任理事に説明を求めた。東田理事は別添資料 11 に基づき、最初に、年間行事予定表に沿って、時系列での活動予定が示された。補足として、11 月の第 69 回日本臨床検査医学会学術集会時、19 日午後に関催シンポジウムの開催が予定されている旨報告があった。続いて各委員会の活動予定が示され、合わせて議長が議事に諮ったところ満場異議無く承認された。

### 第四号議案 選挙管理委員会の設置について

〆谷理事長より、今年度行われる理事・監事選挙における選挙管理委員会設置の提案がなされた。前回から引き続いての委員として、千葉泰彦先生、江原佳史先生、新しく加わる委員として佐藤尚武先生、監事として委員会に関わる東條尚子監事の名前があげられた。また、立ち上げを始め、具体的な日程や、選挙の方法は委員会で決める旨提案された。これを議長が議事に諮ったところ満場異議無く承認された。

### 第五号議案 定時社員総会の招集について

〆谷理事長より、2022 年度一般社団法人日本臨床検査専門医会定時社員総会の開催および会員の招集について説明があった。

日時：5 月 21 日(土)11 時 35 分～12 時 15 分

場所：鹿児島市町村自治会館 4 階ホール(ZOOM によるハイブリッド開催)

(第 1 回年次大会会期中に開催)

本案につき議長が議事に諮ったところ満場異議無く承認された。

以上をもって議事・報告の全てを終了したので議長は閉会を宣した。

古川監事が所用により途中退出した以外は、全員通信が途切れることもなく、閉会までつつがなく議事が進行された。

以上、議事・報告事項について本議事録を作成し、出席理事長及び出席監事は次に記名押印する。

2022 年 6 月 6 日

理事長 〆谷 直人 印

2022 年 6 月 7 日

監事 東條 尚子 印

日本臨床検査専門医会 情報出版委員会活動報告 2022年4月

報告担当 福地邦彦 (昭和医療技術専門学校)

五十嵐岳 (聖マリアンナ医科大学)、出居真由美 (順天堂大学)、井上暢子 (広島大学)、後藤和人 (東海大学)、信岡祐彦 (聖マリアンナ医科大学)、盛田俊介 (東邦大学)、吉田博 (東京慈恵会医科大学)

## 1. JACLaP News 編集主幹 後藤 和人 副主幹 五十嵐 岳・井上暢子

① 春季大会前 141号 2022年2月発行済

巻頭言 橋口照人 先生

「臨床検査医学への提言」 本田孝行 先生

事務局だより

学会案内：第17回アジア臨床病理・臨床検査医学会議

② 142号 準備中 2022年6月発行予定

巻頭言 村上 正巳 先生

「臨床検査医学への提言」 櫻林郁之介 先生

③ 143号 準備中 2022年10月発行予定

巻頭言 山田 俊幸 先生(受諾済)

④ 「臨床検査医学への提言」を検査専門医会ホームページに掲載するための準備について

五十嵐先生がレイアウト等検討中、下記4名に4月中に依頼予定

参考のため初回からの執筆者を示しておきます

138号 第1回 登 勉先生

139号 第2回 佐守友博先生

140号 第3回 熊坂一成先生

141号 第4回 本田孝行先生

- 日本臨床検査専門医会の会員が主催する広く臨床検査(微生物関連も含めての)関連学会・研究会・講習会情報の案内の掲載を予定する。掲載希望の先生は、編集主幹の後藤まで連絡ください。
- 「次世代の臨床検査専門医」として、2022年新入会員の4名の先生が執筆中。

積極的に JACLaP NEWS を有効利用していただき、紙面の充実を図る予定です。ぜひ、事務局ないしは編集主幹まで連絡ください。

## 2. LabCP 担当 信岡祐彦

### 【Lab CP 39 巻 (2021年) 1,2号合併号】

特集 第68回日本臨床検査医学会学術集会

シンポジウム 2「臨床検査の社会貢献」(日本臨床検査専門医会共催)

1. 臨床検査室にようこそ！  
井戸健太郎 大阪みなと中央病院血液腫瘍内科
2. 一般市中病院に勤務する臨床検査医の視点から社会貢献を考える  
～当院の現状と課題、更に将来像～  
朝比奈 彩 静岡赤十字病院検査部
3. 臨床検査科、病院、地域から必要とされる医師を目指して  
眞鍋 明広 福山市民病院診療部臨床検査科
4. 街に出た臨床検査医  
三宅 紀子 八潮駅つばめクリニック臨床検査科

上記内容で間もなく発刊予定

### 【Lap CP40 巻 (2022 年)】

臨床検査専門医会 第 1 回年次大会 (第 32 回春季大会) の内容掲載予定

### 3. 日本衛生検査所協会 協会誌 「ラボ」専門医のページ 担当 出居真由美

衛生検査所協会のホームページからアクセスでき、検索ヒット回数も多くなっています。  
引き続きよろしくお願いいたします。

2021-2022 年度 大タイトル「専門医が解説する病気の検査」

各回のタイトルと執筆担当者

- |    |         |                       |       |      |
|----|---------|-----------------------|-------|------|
| 1  | 2021.4  | 大腸がんのスクリーニング検査        | 五十嵐岳  | 発刊済  |
| 2  | 2021.5  | 膀胱炎                   | 福地邦彦  | 発刊済  |
| 3  | 2021.6  | 熱中症                   | 三宅一徳  | 発刊済  |
| 4  | 2021.7  | 狭心症・心筋梗塞              | 盛田俊介  | 発刊済  |
| 5  | 2021.8  | 不整脈 (期外収縮・心房細動)       | 信岡祐彦  | 発刊済  |
| 6  | 2021.9  | 心不全                   | 赤坂和美  | 発刊済  |
| 7  | 2021.10 | 胆石症                   | 後藤和人  | 発刊済  |
| 8  | 2021.11 | 感染症の検査：インフルエンザ        | 三宅紀子  | 発刊済  |
| 9  | 2021.12 | 骨粗鬆症                  | 出居真由美 | 発刊済  |
| 10 | 2022.1  | メタボリック症候群             | 吉田 博  | 発刊済  |
| 11 | 2022.2  | 喘息と呼吸機能検査             | 堀内裕紀  | 発刊済  |
| 12 | 2022.3  | 貧血                    | 一色美和  | 発刊済  |
| 13 | 2022.4  | 慢性腎臓病                 | 岩津好隆  |      |
| 14 | 2022.5  | 甲状腺の病気 (バセドウ病・橋本病)    |       | 平山 哲 |
| 15 | 2022.6  | ウイルス性肝炎 (B 型肝炎、C 型肝炎) |       | 後藤和人 |
| 16 | 2022.7  | 感染症の検査：HIV            | 田部陽子  |      |

17	2022.8	リウマチ	三枝 淳	
18	2022.9	市中肺炎	松本 剛	
19	2022.10	感染症の検査：ノロウイルス		福地邦彦
20	2022.11	糖尿病	吉田 博	
21	2022.12	脂質異常症	三井田孝	
22	2023.1	脂肪肝	出居真由美	
23	2023.2	痛風	佐藤尚武	
24	2023.3	感染症の検査：ヘリコバクターピロリ		五十嵐岳

#### 4. JACLaP WIRE 担当 福地邦彦

新規掲載項目は東條先生から情報提供を受け、No.262～263 を発行した。

##### No.262 (2022年3月18日発刊) 【新規掲載項目】

- 1) D023 微生物核酸同定・定量検査：E1 SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス) 核酸検出  
\* ミュータスワコー SARS-CoV-2 (富士フイルム和光純薬株式会社)
- 2) D012 感染症免疫学的検査 区分：E1 SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス) 抗原検出  
\* アクキュラシード SARS-CoV-2 抗原 (富士フイルム和光純薬株式会社)
- 3) D004-2 悪性腫瘍組織検査 区分：E3 (改良項目)  
EGFR 遺伝子変異、ROS1 融合遺伝子、ALK 融合遺伝子、BRAF 遺伝子変異、METex14 遺伝子変異  
\* AmoyDx@肺癌マルチ遺伝子パネル (株式会社理研ジェネシス)

##### No.263 (2022年3月31日発刊) 【新規掲載項目】

- 1) D012 感染症免疫学的検査 区分：E1 (既存) SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス) 抗原検出 (定性)  
\* GLINE-2019-nCoV Ag キット (株式会社医学生物学研究所)

#### 5. 要覧作成

以上

2022年度 第1回理事会 教育研修委員会 活動報告

3. 2022年度活動予定

1) 日本臨床検査専門医会 第1回年次大会 (5月20日～21日, 鹿児島 Hybrid)にて

生涯教育講演会 (5月20日 14:35～16:45)

【共通講習:医療安全講習 2単位】

座長:米川 修、田部 陽子 (敬称略)

演者:辰巳 陽一 (近畿大学附属病院安全管理部)

「医療安全における医療チームのかたち」

長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院・患者安全推進部)

「患者安全の全体像」

2) 2022年度 教育セミナー(オンデマンド配信期間 6月10日～20日)

動画共有サイトVimeo, オンラインストレージDropBoxを利用

講義資料は、事前に専門医試験委員、試験実行委員に提供

4月6日よりHPにて参加者募集開始 (4月21日現在 36名申し込み)

(1) 受講料:8,000円

(2) 教育セミナー講師(下記10名)が作成した動画(30～50分)をオンデマンド配信

(3) 資料と実技動画をDVDで配布

(4) 受講確認のため、講義毎にMCQ2問を準備し、回答者に対して受講証明書を発行

講師 (敬称略)

2022年 日本臨床検査専門医会 教育セミナー 講師

科目	氏名	所属先
輸血学	田中 朝志	東京医科大学 八王子医療センター 臨床検査医学科
臨床微生物学	上原 由紀	藤田医科大学 医学部 微生物学講座・感染症科
臨床血液学	増田亜希子	虎の門病院分院 臨床検査部
臨床生理学	諏訪部 章	岩手医科大学 臨床検査医学講座
臨床検査診断特性評価と精度管理	石田 博	山口大学 大学院医学系研究科 医療情報判断学
遺伝子検査学	中谷 中	伊賀市立上野総合市民病院
臨床化学・免疫学	米川 修	聖隷浜松病院 臨床検査科
一般臨床検査学	三宅 一徳	順天堂大学 医療科学部 臨床検査学科
臨床検査室管理総論・精度管理	佐藤 尚武	順天堂大学 医学部 臨床検査医学講座

昨年度合格体験談 (山口聡子、ビデオ約10分)

3) 2022年度 第5回 医学生・研修医のためのハンズオンセミナー共催

8月21日(日) Web開催

主催:日本臨床検査医学会、共催:日本臨床検査専門医会

3) 第69回日本臨床検査医学会学術集会 (11月17日-20日、宇都宮)

共催シンポジウムを企画

テーマ「地域社会を広げる臨床検査専門医の多様性」

以上

審議依頼

有功会員への推薦

九州鉄道病院主任医長・科長 濱田哲夫先生

(満70歳を過ぎた正会員で10年以上の会員歴(任意団体の期間含む)あり)

補足: 任意団体のときには会則で有功会員、名誉会員それぞれ条件が記載されていましたが、一般社団法人になるにあたり定款などで記載すると変更手続きが大変なので省いたという経緯があります。本来有功会員、名誉会員の条件を決める必要があるとは思いますが、委員会規則で年1回理事会に推薦、となっており、有功会員、名誉会員は總會承認であるため、5/20の總會で承認をいただきたく思います。今回対象となる期間は本年1月から3月となりますが、事務局よりいただいた任意団体の時の条件では名誉会員に該当する方はおらず、有功会員の「満70歳を過ぎた正会員で10年以上の会員歴があり、本会に貢献をした者」として濱田哲夫先生がいらっしゃいます。(2006年入会、2022年度まで会費納入済み)

報告事項

前回の理事会以降4名の入会希望者について審査を行い、委員会としては承認、理事長に承認依頼した。

- |         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 1.板垣 裕子 | 独立行政法人国立病院機構 まつもと医療センター 臨床検査科 |
| 2.高門美沙季 | 愛媛大学医学部附属病院検査部 (糖尿病内科・臨床検査医学) |
| 3.中村 正樹 | 北里大学医学部臨床検査診断学                |
| 4.伊東 遥  | 東海大学医学部附属病院                   |

▶ 2022年より3部門体制運営

- a.レジデントノート部門 部門長：後藤和人（九州）
- b.ネットワークBBS部門 部門長：眞鍋明広（福山市民）
- c.イベント部門 部門長（振興協議会広報委員兼任）：尾崎敬（和歌山紀南）

【会務報告】

1. 羊土社レジデントノート「検査のTips」連載

- ▶ 2022年で連載6年目、5月号で連載62回に到達
- ▶ 後藤先生（東海大）のシリーズ編集就任（共同編集）
- ▶ 羊土社編集部、後藤先生と今後に関するMtg（4/21）
- ▶ 2021-22年度における読者感想：◎37、○2、△1
- ▶ △＝国試レベルとの意見があったが、同時に勉強になったと◎意見も2件＝記事レベル設定がなかなか難しい
- ▶ ご執筆いただける方を募集中、御連絡ください！

2. 専門医会HPから個人情報漏洩

- ▶ HPから個人情報情報漏洩（3月1週目A先生、3週目B先生）
- ▶ 経過、対応は下記

電気治療協会HP経由で舞来人サーバーにマルウェア侵入

↓

マルウェアが舞来人サーバー内にあった臨床検査専門医会HP情報を取得、電気治療協会HP内に表示した（A先生の件）

↓

A先生の問題発覚後

- a. 舞来人は舞来人サーバー内にてマルウェア対応
- b. 舞来人はGoogleに問題領域の消去を申請、削除対応となった

↓

ただし、上記ではキャッシュ領域削除まではできていない（キャッシュ領域＝情報を一時記憶してネットを軽くする働きをする領域）。同領域にB先生情報が残ってしまっていた（キャッシュ領域は通常では確認できないが、検索をかけるとみられることがある）

↓

B先生がキャッシュ領域を確認したことで事務局に連絡

↓

舞来人はGoogleにキャッシュ領域追加削除申請、削除

<今後の対応>

\* 人海戦術でキャッシュ領域検索

Google、Yahoo等の削除申請は終了したが、Ping等の有名ではない検索サーバにはB先生情報が残存している可能性があるため、舞来人が検索を行う

\* 情報漏洩に関して HP に公開

上記方法で可能な限りで対応するが、3 件目が生じている可能性は否定できないため、情報漏洩対象となった会員にメールで連絡を行った（問い合わせ 2 件あり）

\* 入退会情報のネット登録は一時的に中止

その間は「HP から DL したフォームに記入してメールもしくはファックス、郵送での申請」に変更

3. 専門医会ネットワーク掲示板（「専門医会ネットワーク BBS」と呼称）

- ▶ 製作開始にあたり部門委員会を開催/運営方法ならびにガイドライン作成
- ▶ ネットワーク BBS 制作開始/現段階 20%、6 月末運用前テスト

4. 医学生～初期臨床研修医対象 RCPC / 医学会 WLB、教育委員会合同

- ▶ 2022 年度は 8 月ハンズオンセミナーに集約化

5. その他イベント

- ▶ 令和 4 年度 こども霞が関見学デー → 未定
- ▶ JaCLAS EXPO 2022 ブース出展 → 未定
- ▶ 11 月 11 日記念日つなぎ委員会 → 継続意向

6. 11 月 11 日記念日つなぎ委員会

- ▶ 2022 年度 11 月 11 日記念日つなぎ委員会は未連絡かつ未開催

【連載「検査の Tips!」2020～2021 年度の感想】

連載全体へのご感想

◎ 同じように見える検査項目にどのような差異や意味があるのかを知ることができるのがよかったです。普段抱えている疑問にそのまま答えてくれるような感じがしました。(1 年目研修医)

◎ 新しい話題も大切ですが、数年前に取り上げられたものでも知っておくべき検査のトピックスについては再度取り上げて頂けるとありがたく思います。(1 年目研修医)

【2020 年度】

2020 年 4 月号掲載「第 37 回 4 月から ALP の基準範囲が 1/3 になる!？」

◎ 検査データの変更点のようなものは、逐一知りたいことなのでとても有意義だと思いました。

△4 月号と 6 月号(第 39 回 TRAb と TSAb, どうやって使い分けるの!?)はかなりマニアックでなかなか実臨床へ応用する機会が少ないかと思いました。(2 年目研修医)

2020 年 5 月号掲載「第 38 回 ちょっと待って、刺しやすいからといってそこに穿刺して大丈夫!？」

◎ よくある肘窩の静脈穿刺におけるトピックスでしたが、どのくらい針を進めると正中神経にあたる可能性があるかという部分は勉強になりました。またどこでも刺していいわけではなく、解剖を意識して注意すべきというのは今後も押さえておきたいと思います。(1 年目研修医)

◎ 穿刺時の疼痛を伴いやすい部位について初めて知りました。よく行う手技なので参考にします。(1 年目研修医)

2020年7月号掲載「第40回 処方せんに臨床検査値が掲載...意味あるの?」

◎ 薬剤師など他職種がより本来の職能を活かすことができるようになるためセーフティネットとして必要なことだと思います。病名は個人情報の関係で院外の薬剤師さんには伝わっていないので、処方箋上に検査データがあることで副作用の早期発見につながると思いました。このような仕組みがあることを知らなかったのが勉強になりました。(1年目研修医)

2020年8月号掲載「第41回 CKの慢性高値...診断はどうなった!？」

◎ 実臨床でも出会いそうな症例でとても興味深く感じました。(2年目研修医)

◎ まさに離島での地域研修中に似たような人に出会ったので感動しました。こういった、何も知らないと検査値に振り回されてしまいそうな pitfall を教えていただける  
ととてもいいと思います。(2年目研修医)

○ まだ自分で経験はないのですがマクロ CK の鑑別に悪性腫瘍があることはしっかり記憶にとどめたいと思います。(1年目研修医)

2020年9月号掲載「第42回 高齢者の骨折では、多発性骨髄腫が隠れているかも?」

◎ 多発性骨髄腫の検査値異常の見分けるポイントやその後の検査についてよい復習になりました。(1年目研修医)

◎ MM を背景に疑うという考え方はとても参考になりました。ここに気づかず見逃されてる MM はたくさんあると思います。(2年目研修医)

2020年10月号掲載「第43回 急激な血小板数減少...何が起きたんだろう?」

◎ 偽性血小板血症については知ってはいてもいざ見るとなると忘れてしまいそうなので、ここでしっかり勉強できてよかったと思います。(2年目研修医)

◎ 基礎疾患が無い場合では誰にでも起こり得るということや確認のためには塗抹標本を顕微鏡で確認する必要があることを学びました。(1年目研修医)

△ 10月号の内容は国試レベルだと思いました。(2年目研修医)

2020年11月号掲載「第44回 血液培養からピロリ菌の仲間?」

◎ 見たことがない菌で勉強になりました。(2年目研修医)

◎ 現在検査部を回っておりグラム染色について日々学んでいます。今回の話も面白かったです。(2年目研修医)

◎ H.Cinaedi は勉強不足でした。培養期間を長くすることや第1世代セファロスポリンの反応不良で疑うことなども勉強になりました。(1年目研修医)

2020年12月号掲載「第45回 「陰性、陽性」表示の落とし穴...あなたはご存知!？」

◎ 便潜血検査の原理についてよい復習になりました。また便潜血検査はポリープ形成する大腸癌で陽性率が高く、陥凹型大腸癌で陽性率が低いことや、定性的に結果が表示されているが実は cutoff が 100 ng/ml と設定されている定量検査であるということは知らなかったのが勉強になりました。自施設での cut off 値について確認してみようと思います。(1年目研修医)

2021年1月号掲載「第46回 超音波プローブ、清掃&消毒しなきゃダメ!？」

◎ アルコール消毒するとプローブが壊れてしまうのでやめてくださいと言われていたのですがペーパータオルだけでもここまで効果があるとは知りませんでした。(2年目研修医)

◎ 超音波プローブを清潔にしないといけないというのは小児科で NICU を研修中によく教わりました。必ず赤ちゃんにプローブを当てる前に清潔にしないといけないということの裏側にはこのようなデータが存在するというを知れて、理解が深まりました。(1年目研修医)

2021年2月号掲載「第47回 病理診断はいつも完璧!？」

◎ 病理診断でどの部分から標本を作製しているのか疑問に思っていました。切り方によっては腫瘍細胞が検出されないこともあるというのが良く理解できました。病理の先生とあまりお話しする機会はないのですが、病理標本を提出した際は相談してみたいと思います。(1年目研修医)

◎ 病理の盲点は知りませんでした。とても勉強になりました。これを知らずに誤診されている例もたくさんあると思います。(2年目研修医)

2021年3月号掲載「第48回 アルブミンとプレアルブミンの違いは？」

◎ 分かりやすい解説でプレアルブミンが何かを理解することができました。プレアルブミンとアルブミンの解離が起きる状態など記憶しておいて診療に役立てたいと思います。(1年目研修医)

○ 最近栄養を勉強していて、プレアルブミンも出てきました。普段電気泳動はやらないので、ふむ、と思いました。(2年目研修医)

#### 【2021年度】

2021年4月号掲載「第49回 あの電解質は診断にどう役立てる!？」

◎ なかなか測定はするのに活用が出来ていなかった Cl について考え方を示して頂いたので、 $\text{Na}-\text{Cl}=\text{HCO}_3+\text{AG}$  を意識して血ガスを取る判断に早速役立てたいと思います。(2年目研修医)

2021年5月号掲載「第50回 HbA1cが高いので治療したのに...低血糖になっちゃった!？」

◎ とても勉強になりました。HbA1c に対する理解が深まりました。(2年目研修医)

◎ JDS 値と NGSP 値の基準値がどのように決められたのかは初めて知りました。また血糖値と HbA1c が乖離する病態があるということも知れたので、おかしいと思った時は疑って見るようにします。(2年目研修医)

2021年6月号掲載「第51回 POCT 機器のピットフォール...知ってる？」

◎ 血糖測定について詳しく考えてみたことがなかったので、面白かったです。(2年目研修医)

◎ 採血時の汚れや採血方法によって血糖測定の数値が大きく変わるという結果に驚きました。普段の救急外来ではそこまで意識することはなかったので、POCT 機器の数値を解釈する際には頭の片隅に置いておきたいと思います。(2年目研修医)

2021年7月号掲載「第52回 スマートウォッチの SpO2 は...信頼してよいものなの？」

◎ スマートウォッチの SpO2 の正確性は以前から気になっていたので参考になりました。巷に出回るデバイスについては測定原理も含めて把握しておき、認可されていないものは医学的判断には用いないように注意したいと思いました。(2年目研修医)

2021年8月号掲載「第53回 C.difficile 迅速検査結果の解釈は difficult!!」

◎ C.difficile の検査は病棟でもしばしば行われていますが、CD トキシン陰性で抗原陽性の場合を経験したこ

とが無かったので勉強になりました。NATT 検査もしくは Toxigenic culture が有用との事ですが、当院で可能かどうか早速検査部に確認してみたいと思います。(2 年目研修医)

◎ いつも CD トキシンしかみていなかったのですが、こんな検査項目があるとは知りませんでした。勉強になりました。(2 年目研修医)

2021 年 9 月号掲載「第 54 回 ヘモグロビン値が急激に上がった理由は...?」

◎ シリンジ採血の後はずぐに分注していたので、今回の事例のような Hb 値の大きな変化は経験したことはなかったのですが、分注後にしばらく静止しておくことで RBC 濃度がシリンジ内で不均一になるということは記憶にとどめておきたいと思いました。(2 年目研修医)

2021 年 10 月号掲載

「第 55 回 血糖値を再検したら、短時間で下がっちゃった...どうして!？」

◎ 血糖用採血管の NaF は効果発現に 3 時間かかることや、時間経過後の血糖低下予防の解決策として FC 管を用いることなど新しい話が多く勉強になりました。(2 年目 研修医)

2021 年 11 月号掲載「第 56 回 新型コロナウイルス感染症で好中球の異形成出現?」

◎ 新型コロナ感染症では好中球が増加し、逆にリンパ球は減少することで好中球リンパ球比率が上昇するということを初めて知りました。トピックスとして記憶しておきたいと思います。(2 年目研修医)

◎ コロナとリンパ球減少は確かに感じるころではあったので、取り上げて頂いてとても勉強になりました。(2 年目研修医)

2021 年 12 月号掲載「第 57 回 新生児からの GBS 検出って...なぜ危険!？」

◎ GBS の話はとても面白かったです。(2 年目研修医)

◎ 新生児の GBS 感染がいかに危険か、また GBS な母体腔培養での検出率が低いというのは勉強になりました。新生児の WBC 減少が GBS 感染の重篤化と関連があるという事も知識として知っておきたいと思います。(2 年目研修医)

2022 年 1 月号掲載「第 58 回 赤沈の亢進した検体での注意点は?」

◎ 学生時代にお世話になった常川先生の解説はやはりわかりやすいと感じました。赤沈の原理から亢進する疾患についての理解が深まりました。(2 年目研修医)

2022 年 2 月号掲載「第 59 回 RCPC って、いったいどんな学習法なの?」

◎ RCPC の出題があり、次回の解説が楽しみです。(2 年目研修医)

#### 【検査への疑問】

・ 現在当院ではコロナの検査で「呼吸器パネル」という、コロナやインフルエンザ等多数の呼吸器系のウイルスを同時に一気に PCR で調べられる検査が導入されています。その一方で、パネルが陰性でも「発熱と肺炎像があるので翌日再検しそれで陰性であれば初めて陰圧対応解除とする」といった偽陰性疑いの対応が多く生じていますが、果たしてこの対応はどこまで正しいのでしょうか。インフルエンザの検査と一緒に、発熱何時間後から陽性といった基準はあるのでしょうか。

以上

## 1. 振興セミナー

2022年7月22日(金) 14:30~16:50を予定 WEB形式で開催します。

座長と第1部の演者についてご意見を伺いたく存じます。

開会挨拶 理事長 〆谷先生 14:30~14:35

開催

第1部 令和4年度診療報酬改定を巡って

座長：( ) ← ご意見を伺いたく

講演1. 「令和4年度診療報酬改定について」 14:35~15:35

講師 厚生労働省保健医療課 荒川 直紀 先生

講演2 「診療報酬改定に対する臨床検査専門医会としての考え」(案) 15:05~15:35

講師 ( ) ← 松下先生でよろしいでしょうか?

第2部. 「公正競争規約と最近の動向」 津藤保氏(医療機器業公正取引協議会) 15:45~16:45

座長：横崎でよろしいでしょうか?

閉会挨拶 副理事長 山田先生 16:45~16:50

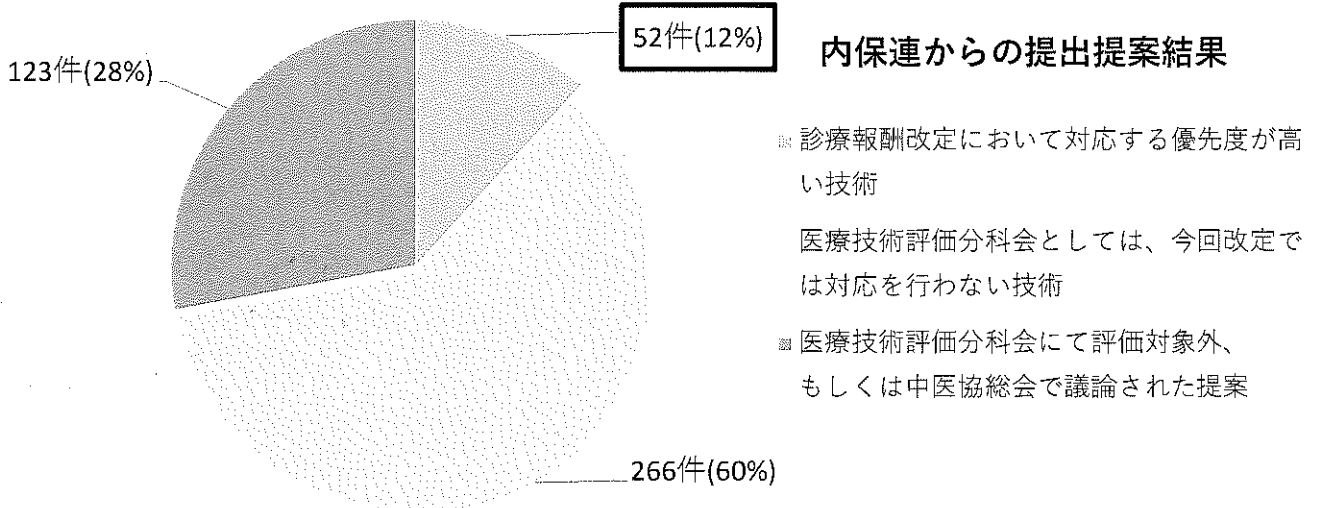
## 2. 全国検査と健康展について

2022年度も日本臨床衛生検査技師会と協力していく予定です。

医療技術評価分科会における医療技術評価（案）＜概要＞

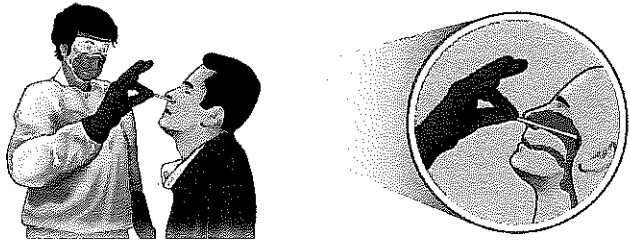
2022年1月18日（火）開催 令和4年度第2回医療技術評価分科会

内保連からの提出提案（441件）			
医療技術評価分科会にて 評価対象となる技術 (318件)	診療報酬改定において 対応する優先度が高い技術 (52件)	提案について妥当性が示されている。	14件
		評価すべき医学的有用性が示されている。	28件
		提案の一部について評価すべき医学的有用性が示されている。	10件
	医療技術評価分科会としては、 今回改定では対応を行わない技術 (266件)	再評価すべき医学的有用性が十分示されていない。	23件
		評価すべき医学的有用性が十分に示されていない。	61件
		別途評価を行うべき根拠が十分に示されていない。	182件
医療技術評価分科会にて評価対象外、 もしくは中医協総会で議論された提案（123件）	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	38件	
	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	49件	
	医療技術としてアウトカムが改善する等の有効性をデータで示すことができない、制度や指導管理等に係る提案。	24件	
	中医協総会において、当該提案の全部又は一部に係るテーマについて議論が行われている。	12件	



【技術の概要】

- 鼻腔・咽頭にスワブを挿入し、拭い液を採取する。
- 鼻咽頭粘膜の合併症が避けるため、粘膜を障害しないよう注意が必要である。
- 検体採取の際には、感染防御策を行う。



【対象患者】

- 新型コロナウイルスPCR検査・抗原定量/定性検査
- インフルエンザ抗原定性
- RSウイルス抗原定性
- マイコプラズマ抗原定性（免疫クロマト法）
- アデノウイルス抗原定性（糞便を除く）
- A群β溶連菌迅速試験定性
- 細菌顕微鏡・培養同定検査
- 微生物核酸同定・定量検査
- 第5回NDBオープンデータ（平成30年度）では年間29,528,125回施行された。

【現在当該疾患に行われている方法との比較】

- 方法には変化がないが、新型コロナウイルスの感染を確実に予防するため、臨床検査技師等を含む専任担当者が実施する施設が増加している。

【有効性】

- 検体採取が適切に行われることにより、正確な診断が迅速に行われる。検査の精度を左右する重要なプレアナリシスのステップである。
- 鼻腔・咽頭スワブ検体によりその後の多検体処理や分析工程の標準化が可能となる。
- 担当者の人件費の実態調査結果を適切に反映した再評価が必要である。

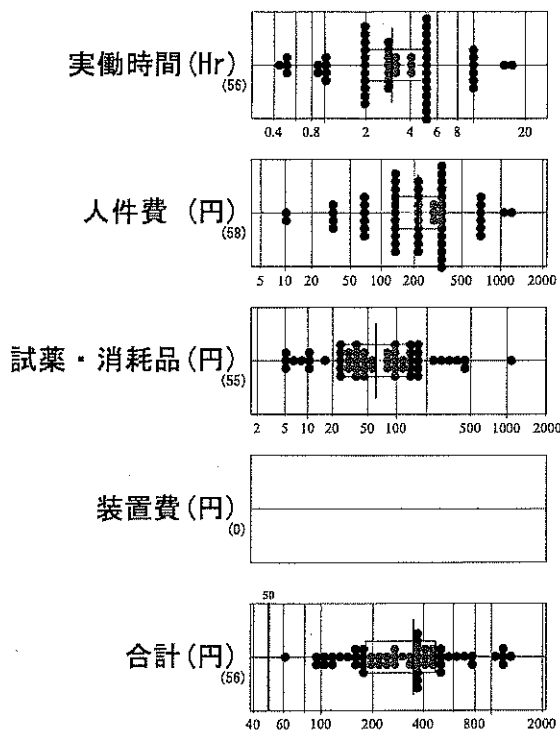
【診療報酬上の取扱】

- D検査
- 35点（現行 5点）  
試薬・消耗品費が、現行の点数を上回る施設が多い。検体採取に必要な最低限なコストに相当する増点を提案する。

2020-2021年 日本臨床検査振興協議会依頼

日本臨床検査医学会・日本臨床衛生検査技師会 施行

鼻腔・咽頭拭い液採取 のコスト分析結果（外れ値処理後、単位円）



n	5%	25%	中央値	50%	95%	4分位偏差
56	0.5	2.0	3.0	5.0	10.0	1.5
58	36	144	216	360	720	108
55	6	26	61	136	413	55
56	99	182	348	470	1146	144

総費用の中央値 (円)

## 一般社団法人 日本臨床検査専門医会 2021年度 事業報告

I 事業期間 2021年12月3日～2022年3月31日

II 会員数 正会員数(うち臨床検査専門医数):586名(511名)、賛助会員数:30社

III 事業目的

この法人は、臨床検査に携わる医師の資質の向上とその育成および相互の発展を図り、臨床検査に関する正しい情報提供を介し、国民の健康の維持・増進を図ることを目的とする。

IV 事業内容

(1)刊行物(情報出版委員会)

JACLaP NEWS 141号

電子メール新聞 JACLaP WIRE(No261, 262, 263 発行)

(2)会議等

第1回理事会(2022年2月19日)

各種委員会活動

(3)その他の事業

新型コロナウイルス感染症に対するN95マスク、PPEなどの医療機関への配付事業  
(2022年2月4日終了)

以上

## 2021年度 正味財産増減計算書

資料8

2021年12月3日から2022年3月31日まで

(単位：円)

		項 目	2021年度決算
収 入 欄	そ の 他	利息	5
		小 計	5
	収 入 合 計		5
支 出 欄	庶 務 経 費	事務所維持費	480,356
		人件費	743,170
		設備費	1,784
		電話・FAX使用料	11,407
		通信費（事務局）	57,051
		顧問料	187,000
		事務局雑費	10,924
		小 計	1,491,692
	事 業 経 費	印刷代	94,446
		通信費	77,308
		会議費	6,349
		交通費	4,000
		HP維持費	82,500
		会員管理委託費	33,000
		小 計	297,603
支 資料8 計		1,789,295	
当期経常増減額（収入－支出）			△ 1,789,290
資産受贈益			32,104,290
設立費用			270,570
税引前当期正味財産増減額			30,044,430
法人税等			17,500
税引後当期正味財産増減額			30,026,930
正味財産期首残高			0
正味財産期末残高			30,026,930

## 貸借対照表

2022年3月31日現在

科目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	34,428,391
前払金	144,380
流動資産合計	34,572,771
資産合計	34,572,771
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	210,472
前受金	925,000
前受会費	3,350,000
預り金	42,869
未払法人税等	17,500
流動負債合計	4,545,841
負債合計	4,545,841
III 正味財産の部	
正味財産	30,026,930
正味財産合計	30,026,930
負債及び正味財産合計	34,572,771

## 注記

## 1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理 税込法によっている。

## 附属明細書

記載すべき事項はない。

## 監査報告書

令和4年4月19日

一般社団法人日本臨床検査専門医会  
理事長 谷 直人 殿

監事 古川 泰司



監事 東條 尚子



私たち監事は、令和3年12月3日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

## 2. 監査の結果

## (1)事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重要な事実は認められません。

## (2)計算書類及び附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、本会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

日本臨床検査専門医会 2022 年度事業計画(案)  
2022 年度(2022 年 4 月-2023 年 3 月)

資料11

1. 2022 年度行事予定

日本臨床検査専門医会(法人) 年間行事予定表(案) (2022 年 4 月 23 日現在)

日 時	内 容	開催場所	担当責任者
4月23日(土) 15:00~	第1回理事会 全国幹事会(任意団体)	Zoom 会議	庶務
6月	第91回教育セミナー(オンデマンド)	Web 配信	教育研修委員長
5月20日(金)~5月21日(土)	第1回年次大会 第2回理事会 第11回生涯教育講演会 第60回総会(任意団体) 2022年度定時社員総会(法人)	鹿児島 (ハイブリ開催)	橋口 会長 庶務 教育研修委員長 庶務 庶務
7月22日(金)	第38回臨床検査振興セミナー	Web 配信	渉外委員長
9月17日(土) 15:00~	第3回理事会	Zoom 会議	庶務
11月11日(金)	臨床検査の日 全国検査と健康展 臨床検査の日 全国検査と健康展		渉外委員長
11月17日(木)~20日(日) 17日(時刻は未確定) 17日(時刻は未確定)	第69回日本臨床検査医学会学術集会 第4回理事会 2022年度臨時社員総会・講演会 共催セミナー	宇都宮	山田 会長 庶務 庶務 教育研修委員長
11~12月	役員選挙		選挙管理委員会
2023年3月 日(土)	第5回理事会 要覧発行	Zoom 会議	庶務

2. 各種委員会

① 渉外委員会

1) 振興セミナー: 7月22日 14:30~16:50を予定 WEB形式開催。

テーマ: 第1部 令和4年度診療報酬改定を巡って

第2部 「公正競争規約と最近の動向」

2) 全国検査と健康展: 2022年度も日本臨床衛生技師会と協力を予定。

② 保険点数委員会

次期診療報酬改定に向けての準備

③ 情報・出版委員会

1) JACLaP NEWS: 3号発行予定。

2022年6月(142号) 2022年10月(143号)準備中

2023年1~3月(144号)予定

2) Lab CP: 39巻1号・2号合併号発行予定。

Lab CP: 40巻準備中

3) 「ラボ」(日本衛生検査所協会 協会誌)専門医のページ「専門医が解説する病気の検査」を大テーマに  
2021年4月から2023年3月までの内容・執筆計画は終了。

4) JACLaP WIRE: 2021年度(1~3月)には3号を発行した。今年も順次発行予定。

5) 「臨床検査医学への提言」を検査専門医会ホームページに掲載するための準備中

6) 要覧発行

④ 教育研修委員会

1) 教育セミナー: (オンデマンド配信期間 6月10日~20日)

動画共有サイト Vimeo, オンラインストレージ DropBox を利用

受講確認のため、講義毎に MCQ2問を準備し、回答者に対して受講証明書を発行

参加費: 8,000円

2) 生涯教育講演会: 第1回年次大会 (5月20日~21日 14:35~16:45, 鹿児島 Hybrid)

【共通講習: 医療安全講習 2単位】

座長: 米川修、田部陽子(敬称略)

① 医療安全における医療チームのかたち: 辰巳陽一(近畿大学附属病院安全管理部)

② 患者安全の全体像: 長尾能雅(名古屋大学附属病院・患者安全推進部)

3) 2022年度第5回医学生・研修医のためのハンズオンセミナー共催: WEB開催(8月21日)

主催: 日本臨床検査医学会、共催: 日本臨床検査専門医会

4) 第69回日本臨床検査学会学術集会(11月17-20日、宇都宮 現地開催)

共催シンポジウムを企画

テーマ「地域社会を広げる臨床検査専門医の多様性」

⑤ 資格審査・規定改定委員会

随時、入会会員の審査をし、理事長へ承認依頼中。

今年度も引き続き、新規申入会申請者および名誉・有功会員の資格審査をする。

⑥ 広報・ネットワーク運営委員会

レジデントノート部門・ネットワーク BBS 部門・イベント部門の3部門に分かれて活動予定。

1) 羊土者レジデントノート「検査の Tips」連載: 6年目の継続連載が決定、5月号で連載 62回に到達。

2) 専門医会ネットワーク掲示板(「専門医会ネットワーク BBS」と呼称)運用開始予定。

3) 医学生~初期臨床研修医対象 RCPC はハンズオンセミナーに集約, こども霞ヶ関見学デー,  
JACLSEXPO 2022 への出展は未定。11月11日記念日つなぎ委員会は継続意向。

## 5. 第1回一般社団法人日本臨床検査専門医会年次大会

5月20日(金)～21日(土)、ハイブリッド開催

## 日本臨床検査専門医会 第1回年次大会

## プログラム

テーマ：次世代バイオマーカーへの挑戦

第1日		2022年5月20日(金)
11:30～	受付開始	鹿児島市町村自治会館
12:40～14:00	第2回理事会	
14:15～14:35	開会	
14:15～14:30	理事長挨拶	日本臨床検査専門医会 理事長 夙谷 直人
14:30～14:35	会長挨拶	日本臨床検査専門医会第1回年次大会 会長 橋口 照人
14:35～16:45	臨床検査専門医会 生涯教育講演会 (共催：日本臨床検査医学会)	
14:35～15:35	※本企画は、日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る講習会、共通講習 (医療安全) 1単位に認定されています。 座長 順天堂大学医学部 臨床検査医学 田部 陽子 医療安全における医療チームのかたち 近畿大学附属病院安全管理部・医療安全対策室 血液・膠原病内科 辰巳 陽一	
15:45～16:45	※本企画は、日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る講習会、共通講習 (医療安全) 1単位に認定されています。 座長 聖隷浜松病院 臨床検査科 米川 修 患者安全の全体像 名古屋大学医学部附属病院・患者安全推進部 長尾 能雅	
16:55～17:55	教育講演 1	※本企画は、日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る講習会、臨床検査領域講習 1単位に認定されています。 座長 群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学 村上 正巳 地域共生社会における在宅医療と臨床検査医学～Update 2022～ 自治医科大学 地域医療学センター地域医療学部門 (兼) 医学部臨床検査医学 小谷 和彦
第2日		2022年5月21日(土)
8:30～	受付開始	(鹿児島市町村自治会館)
9:00～10:00	教育講演 2 (臨床検査専門医 指導医講習会)	※本企画は、日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る講習会、臨床検査領域講習 (指導医講習) 1単位に認定されています。 座長 国際医療福祉大学熱海病院 検査部 夙谷 直人 共用基準範囲の誕生と今後の展望 香椎丘リハビリテーション病院 康 東天
10:10～11:15	臨床検査専門医 Catch up シンポジウム 1	※本企画は、日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る講習会、臨床検査領域講習 1単位に認定されています。 座長 自治医科大学臨床検査医学 山田 俊幸 済生会横浜市東部病院臨床検査科 菊池 春人
10:10～10:40	1. 凝固カスケード反応の本質に迫る！ 凝固波形解析	慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室 涌井 昌俊
10:45～11:15	2. ペプチドームは次世代バイオマーカーに成り得るか？	日本大学医学部・病態生理学微生物学分野 荒木 慶彦
11:25～12:15	総会：第60回総会 (任意団体) / 2022年度定時社員総会 (一般社団法人)	
12:25～13:15	ランチョンセミナー (共催：アポットジャパン合同会社)	座長 広島大学病院検査部 横崎典哉 感染症の新規バイオマーカーとしての「菌数」の有用性について 富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部 仁井見 英樹
13:25～14:30	臨床検査専門医 Catch up シンポジウム 2	※本企画は、日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る講習会、臨床検査領域講習 1単位を申請中。 座長 東京医科歯科大学臨床検査医学 東田 修二 千葉大学医学部附属病院検査部 松下一之
13:25～13:55	1. 質量分析計を用いた生理活性脂質の臨床検査への導入を目指して	東京大学医学部附属病院 検査部 蔵野 信 矢野 裕
14:00～14:30	2. COVID-19のバイオマーカー	鹿児島大学大学院歯学総合研究科 血管代謝病態解析学 山口 宗一
14:30～14:35	次期会長 挨拶	昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科 木村 聡
14:35～14:40	閉会の辞	日本臨床検査専門医会第1回年次大会 会長 橋口 照人

## 6. 役員改選

選挙管理委員会の立ち上げ

選挙実施